

第 11～18 回 院内リハケア合同研究大会（院内学術大会）

第 11 回院内学術研究大会

テーマ：「『リハビリテーション医療における各職種の専門性』～成熟したチームアプローチを目指して～」

日時：平成 20 年 5 月 10 日

会場：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：「チーム医療を支える看護師がチームの活性化を図る」

講師：藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム回復期リハビリ病棟 看護長 川北美奈子

<一般演題>

演題 1. 内服自己管理シートの作成 第 3 報～FIM から見た傾向～

発表者：看護 山本三紗

演題 2. 発症時に独居だった患者の転帰先について～6F 病棟における過去 1 年間のデータより～

発表者：相談員 崎枝真琴

演題 3. 脳卒中患者の ADL レベルが自宅復帰に及ぼす影響～退院時 FIM と同居と独居の観点から～

発表者：理学 仲宗根淳

演題 4. 個別ケア～入浴指導法作成を試みて～

発表者：介護 大工廻麻貴子

演題 5. 一般病棟における看護師の役割～救急搬送の統計からの考察～

発表者：看護 嘉陽博美

演題 6. 在宅への自立支援～通所リハビリテーションにみる利用者の生きがいづくり～

発表者：介護 池味直也

演題 7. 回復期リハビリテーション病棟から HOT 導入を行なった 2 症例

発表者：医師 岸本幸明

演題 8. 訪問リハビリに関する理解と連携向上への取り組み～退院前訪問に同行して～

発表者：作業 小橋川直

演題 9. 既存の福祉用具の工夫～個々に合わせた道具の提供を目指して～

発表者：作業 内田智子

演題 10. 回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群の実態～原因疾患別にみる FIM と自宅復帰率の比較～

発表者：理学 松岡藍

演題 11. Machiafava-Bignami 病を呈した 1 例

発表者：作業 安村勝也

演題 12. 手指失認を呈した 1 症例の症状検討

発表者：作業 又吉麻美

演題 13. 小児失語症・高次脳機能障害へのアプローチ～復学に向けて～

発表者：言語 渡邊真由美

演題 14. 認知症に対しての回想法を試みて～思考の反応から気づかされたこと～

発表者：看護 内間恵美子

演題 15. 高次脳デイケア～日々の奮闘と advertising～

発表者：作業 渡邊健一

演題 16. 平成 18 年度の NST 統計

発表者：栄養士 宮平栄子

演題 17. 入退院を繰り返す患者様の傾向～過去 1 年間の当院 5 階病棟のデータより～

発表者：理学 當間かおり

演題 18. ナースコールが鳴る前に！！～先取りケアを試みて～

発表者：介護 上地綾子

演題 19. 大腿骨頸部骨折術後患者の歩行能力に影響を与える諸因子

発表者：理学 宮里宗忠

演題 20. 継続性のあるケアをめざして～受け持ち患者に関する意識調査～

発表者：看護 東門いづみ

第 12 回院内学術研究大会

テーマ：「『高齢社会における健康増進と予防医療活動の飛躍を！』」

会場：平成 21 年 5 月 16 日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：「高齢者の運動機能について」

西崎病院 整形外科専門医・医学博士 吉川朝昭

演題 1 回復期リハビリ病棟における脳血管疾患の治療効果～FIM 重症度分類での比較～

発表者：理学 神田真子

演題 2 回復期リハビリ病棟における各運動器疾患の治療効果

発表者：理学 高宮城あずさ

演題 3 心理的に変化のある脊髄損傷患者への関わり～プロセスレコードからみえてきたもの～

発表者：看護 山城千佳沙

演題 4 当院回復期病棟における脊髄損傷患者の動向について

発表者：理学 北原さおり

演題 5 改善が見込まれた統覚型視覚失語の症例～視野拡大に向けて～

発表者：言語 渡追真由美

演題 6 通所リハビリテーションにおける介護予防の評価について～Elderly status Assessment set (E-SAS) を用いて～

発表者：理学 久田友昭

演題 7 発症から長期経過した利用者様に刻する取り組み～自主トレーニング効果～

発表者：理学 大城有騎

演題 8 当院リハ職員の福祉用具に対する意識調査

発表者：作業 古川宗宏

演題 9 『他職種で支える ALS 患者の地域生活』～その入らしく生きるために～

発表者：理学 當眞かおり

演題 10 尿失禁に対するアプローチ～骨盤底筋群体操の効果～

発表者：理学 真喜屋奈美

演題 11 非経口摂取から経口摂取へ至る要因について～嚥下造影検査(VF)と基礎情報をもとにした予後予測～

発表者：言語 幸喜桃子

演題 12 Vacuum-Assisted-Closure (VAC)：閉鎖式持続吸引療法を効果的に行う為の取り組み

発表者：看護 宜野座智光

演題 13 手術室における除圧対策の考察

発表者：看護 大城夕子

演題 14 超音波を用いた頚動脈評価

発表者：医師 長演一史

演題 15 活気のない患者への個別的な余暇活動を試みて

発表者：介護 宮里ここの

演題 16 口腔ケアについて

発表者：介護 田場恵理也

演題 17 誤薬はなぜ起こる？人間は何故、間違える？～ヒューマンファクターエンジニアリング～

発表者：看護 松田貴史

演題 18 いきいき楽しい生活を！～病棟リハビリ体操の取り組み～

発表者：介護 玉城美千穂

演題 19 大腿骨頸部骨折患者の栄養状態と ADL の関係

発表者：看護 島木りか

第 13 回院内学術研究大会

テーマ：「変革と挑戦」

開催日：平成 22 年 6 月 19 日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：「心臓リハビリ半年後のわたしの四国遍路旅」

フリーカメラマン 石川文洋

演題 1 クライアントの安全と自由を守る私達の関わり～マンパワーを生かせ～

発表者：看護 金城美奈子

演題 2 身体拘束する、しないは医療者の協力にかかっている

発表者：看護 久高寿好

演題 3 褥瘡発生ゼロを目指した予防ケアの取り組み

発表者：看護 與儀純也

演題 4 脊髄損傷患者における褥瘡発生の現状把握と今後の展望

発表者：看護 藤澤欽崇

演題 5 ナースコールの実態調査～ちゅうらうみホールチームスキルミックスへの挑戦～

発表者：作業 阿嘉太志

演題 6 在宅療養に対して不安を抱えた家族への取り組み～PEG 管理にめぐる退院支援計画を検討する～

発表者：看護 比嘉科子

演題 7 はいさいホール現状報告～課題と取り組み～

発表者：看護 波平功

演題 8 当院における脊髄障害者の入院期間の調査～期限超えの原因をソーシャルワーカーの視点で調査する～

発表者：相談員 仲宗根秀徳

演題 9 高次脳機能障害当事者と家族への支援「あるがまま」～高次脳機能障害支援普及事業～

発表者：言語 能代育江

演題 10 回復期病棟で真剣に遊びに遊ぶ～遊びを通して得られるもの～

発表者：作業 平山陽介

レクリエーション活動の実施による精神機能の変化

発表者：作業 小寺倫子

演題 11 失語症・高次機能障害を伴いながら職場復帰を果たした症例～入院中から社会復帰に向けたアプローチ～

発表者：言語 渡邊真由美

演題 12 脈波伝播速度（PWV）と脳血管疾患

発表者：検査技師 柳元このみ

演題 13 回復期リハビリテーションから維持期リハビリテーションへ～外来リハ利用者 3 例の展開～

発表者：作業 渡邊健一

演題 14 当院訪問リハビリテーション室の現状と課題～新体制による役割の変化とアンケート調査を通して～

発表者：作業 小橋川直

演題 15 通所リハビリに通う利用者の変化～通所リハビリが与えた影響～

発表者：介護 志慶真裕也

第 14 回 タピック・リハ・ケア合同研究大会

テーマ：「医療連携～急性期から回復期そして地域へ～」

開催日：平成 23 年 6 月 11 日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

演題 1 術後せん妄の早期発見・ケアに繋げるために～当病棟の手術患者を通してわかったこと～

発表者：5 階はいさいホール大城裕美（N s）

演題 2 ていだホール看護師の現状・意識調査を通して～アンケート・ディスカッションから見えてきたもの～

発表者：7 階ていだホール葛西信子（N s）

演題 3 平成 22 年度 NST 結果報告

発表者：NST 津留京子（栄養士）

演題 4 ていだホール退院後の介護保険サービス利用状況について～年齢・退院時 F I M 運動項目合計を用いて～

発表者：7 階ていだホール善平大貴（O T）

演題 5 介護職による心のケア～扉を開こう～

発表者：あわせ通所リハビリテーション宮里サヨ子（C W）

演題 6 エンパワメントを引き出す支援～処遇困難ケースを通して～

発表者：沖縄市在宅介護支援センターあわせ安座間智子（S W）

演題 7 長期入所者の在宅復帰を通して～チャンスをいかして～

発表者：亀の里ケア部玉城有裕美（C M）

演題 8 通所リハ利用者の介護度変化を考える～利用頻度が介護度変化に与える影響～

発表者：あわせ通所リハビリテーション宮里宗忠（P T）

演題 9 在宅生活を継続するための支援～訪問リハビリの関わりで見えてきたもの～

発表者：訪問リハビリテーション室遠藤千恵子（P T）

演題 10 重度片麻痺患者に HAL を用いて動作が改善した 1 症例

発表者：6 階ちゅうらうみホール照屋修平（P T）

演題 11 当院におけるボトックス施行症例報告

発表者：医局リハビリテーション科大城史子（D r）

演題 12 遊びリテーションと身体機能・ADL 等との関係性について

発表者：6 階ちゅうらうみホール辺土名健一（P T）

演題 13 禁煙外来の現状～禁煙治療を通して学んだこと～

発表者：ひんぷんホール外来目差孝子（N s）

演題 14 デイルームのテーブルの高さの検証

発表者：5 階はいさいホール知念和仁（O T）

演題 15 手指拘縮におけるスプリント・装具の効果

発表者：ひんぷんホール外来リハ照屋南菜美（O T）

演題 16 頸髄損傷（C 5）患者の自助具を用いた自己導尿の工夫～あきらめない関わり～

発表者：6 階ちゅうらうみホール山城順子（N s）

演題 17 脳性麻痺・脳梗塞を既往に持つ頸髄疾患患者の食事への取り組み

発表者：6 階ちゅうらうみホール山城幸司（O T）

演題 18 思いをくみとることの重要性～終末期の症例を通して～

発表者：4 階ゆいんちホール仲村わかな（S T）

演題 19 認知症高齢者の機能低下を防ぐためのアプローチ～状態変化の早期発見と対応～

発表者：デイサービスあわせ喜友名忍（S W）

演題 20 老健施設での認知症ケアチームアプローチ

発表者：亀の里ケア部 2 階島袋勇士（C W）

演題 21 メディカルホール体制（他職種混合の新病棟体制）による成果～ゆいんちホール開幕からの取り組みと今後の展望～

発表者：4 階ゆいんちホール和宇慶亮士（O T）

第 15 回 タピック・リハ・ケア合同研究大会（第 1 回 タピック アカデミック フェスティバル）

テーマ：「超高齢社会におけるまちづくりと医療・ケアの役割」

開催日：平成 24 年 6 月 9～10 日

開催場所：ユインチホテル南城

<各施設の取り組み紹介 >

宮里病院 看護部長 照屋弘子

名護市スポーツリハビリテーションセンター” SpoRC” 課長 玉城哲雄

介護老人保健施設亀の里 ケア部主任 佐久川尚美

ペアーレ沖縄・タピック 主任 仲大底仁

地域ケアセンター マネージャー 山城忍

沖縄リハビリテーションセンター病院 リハ担当部長 仲西孝之

ユインチホテル南城 マネージャー 宮城篤志

やはら万国クリニック 主任 宮里諭明

1. 半固形化栄養剤導入前後の経過 ～嘔吐・下痢を繰り返す 4 症例の変化～

発表者：介護老人保健施設 亀の里ケア部 看護師 又吉大

2. 認知症治療病棟における摂食・嚥下障害と栄養管理へのアプローチ ～栄養ケアがもたらす生活の質への影響～

発表者：宮里病院 北2病棟 作業療法士 金城愛

3. 摂食嚥下機能からみた嚥下体操の有効性

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅうらうみ 介護福祉士 我喜屋香亜子

4. 経管（胃ろう）栄養から経口摂取への取り組み ～経口摂取に伴いQOLの拡大が見られた症例～

発表者：宮里病院 西病棟 看護師 岸本弘子

5. 経管栄養投与方法：栄養が先か？ 白湯が先か？～誤嚥性肺炎発症数の変化～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅうらうみ 看護師 山城順子

1. ヘルシーダイエットモニターの取り組みについて～クリニックとフィットネスの融合～

発表者：スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 當銘亜由美

2. 当病棟における口腔ケアの定着に向けて

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅうらうみ 言語聴覚士 島袋祥子

3. 当院における誤嚥性肺炎の実態調査

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 理学療法士 伊礼祥子

4. 当院におけるがん患者の傾向と今後の課題

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 作業療法士 古川宗広

5. 当院における装具作成状況および作成後のフォローについて

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅうらうみ 理学療法士 嘉味田勝太

1. アパシーの改善がみられた軽度認知症高齢者の一事例

宮里病院 認知症デイケア 作業療法士 與那さやか

2. 地域在住の一般高齢者における認知機能、抑うつ症状と生活の特性に関する予備的研究

宮里病院 リハビリテーション部 作業療法士 小林彰

3. クリニックでの認知症プログラム効果について～スポーク・クリニックにおける取り組み～

スポーク・クリニック 作業療法士 新垣太樹

4. 意欲低下等のBPSDが著名な中等度認知症者への適切なアクティビティとは何か

宮里病院 認知症デイケア 作業療法士 具志堅和

5. 回復期リハ病棟における認知症予防と回想法グループでの取り組み

～多職種で展開する小集団アプローチの試み～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 作業療法士 児玉悦津子

1. 運動継続による自然減退の防止効果～運動継続者” 体力測定、アンケート” の結果より～

発表者：ペアーレ沖縄・タピック 健康運動指導士 渡口彦春

2. 転倒防止へのチャレンジ ～転倒対策ミーティングにてリスク感性を向上させる試み～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 ゆいんちホール 看護師 安慶名誠

3. 沖縄百歳堂デイケアセンターにおける水中運動療法の取り組み～現状報告と今後の課題について～

発表者：地域ケアセンター部門 百歳堂デイケアセンター 理学療法士 知名真希子

4. 国頭村委託事業「転倒骨折予防教室」の取り組みについて

～スポーク・フィットネスセンターにおける取り組み～

発表者：スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 比嘉邦彦

5. 転倒リスク度別に見た転倒対策項目数と転倒回数～2つの転倒リスクアセスメントシートでの検討～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅうらうみ 理学療法士 村田麻衣子

1. 退院時の見送り～ゆいんちホールおもてなしへの取り組み～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 言語聴覚士 平良春奈

2. 症状の安定をめざして～看護からのアプローチはないか個別的関わりを重点において効果を考える～

発表者：宮里病院 北3病棟 看護師 与古田律

3. 介護記録の検討 ～他職種間の情報共有化を図るために～

発表者：宮里病院 西病棟 介護支援専門員 野口三郎

4. 退院後訪問から振り返る退院指導の在り方

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 看護師 普久原睦子

1. 統合失調症患者への認知機能改善及び社会生活能力向上を目的とした作業療法の効果

発表者：宮里病院 精神科作業療法室 作業療法士 古賀雅子

2. 脳卒中患者の自己効力感が病院環境内の行動範囲に与える影響

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 理学療法士 玉城美香

3. 全介助者の在宅復帰後の生きがいづくり～本人の二ードを中心に考える～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 高良圭

4. 入浴チェック表の使用状況について ～チェック表見直しからえたもの～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 看護師 神村盛和

5. アルコールリハビリプログラム(ARP)の現状と成果について～依存症患者さんへの関わりを見直す～

発表者：宮里病院 東病棟 看護師 高橋徳世

1. メディカルホール2年半後の現状～平成22・23年度実績と全国調査との比較～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 和宇慶亮士

2. 回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰要因の検討

発表者：宮里病院 老人リハ課 作業療法士 柴田容江

3. 回復期リハビリテーション病棟における身体合併症の管理体制を考える

～転院患者のデータ分析を通して～

発表者：宮里病院 西病棟 看護師 安里功子

4. 当院回復期リハビリテーション病棟における入院期限を超えて退院した患者の分析

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 地域連携室 相談員 大城将平

5. 「クライアントプラン」を活用しての現状と課題と提案

～早期よりチームで目標プランを共有するために～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 和宇慶亮士

1. 当院外来リハビリにおける患者満足度調査

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぷん 理学療法士 島袋雄樹

2. 疾患ごとの時期別入院件数の分析～効率的なon/off the job trainingのために～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 作業療法士 土田真也

3. 脳血管障害後に大腿骨近位部骨折を合併した症例の検討

～退院時の歩行自立度と在宅復帰率に着目して～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 理学療法士 當眞里絵

4. 当院における抗精神病薬の使用実態

発表者：宮里病院 薬局 薬剤師 上原卓朗

1. 腰痛に対する理学療法—姿勢制御を中心とした評価をもとに—

発表者：スポーク・クリニック 理学療法士 仲間栄二

2. 変形性膝関節症患者の歩行は大腿四頭筋が過活動している～表面筋電計を用いた健常成人との比較評価～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぷん 理学療法士 比嘉俊文

3. 当院における大腿骨頸部骨折患者におけるFIMの動向 ～FIM運動項目に着目して～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 理学療法士 平良亜紀子

4. スポーク・クリニックにおける地域スポーツへのかかわり～普及活動を通しての障害予防～

発表者：スポーク・クリニック 理学療法士 宮城健次

5. 平成22年度名護市委託事業「りっかりっか健康教室」の取り組みについて

発表者：スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 山本弥生

1. 集団認知リハビリテーションプログラム「あるがまま」平成23年度の実績

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 言語聴覚士 崎原盛旭

2. 長期入院患者の退院支援 ～退院を振り返りみえたもの～

発表者：宮里病院 東病棟 看護師 青木純

3. 沖縄市在宅介護支援センター調査報告～福祉サービスの利用を通して～

発表者：地域ケアセンター部門 在宅介護支援センター 社会福祉士 安座間智子

4. 回復期病棟における失語症者の自宅復帰とリハビリテーションについて

～在宅復帰を果たした2症例の比較を通して～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 言語聴覚士 渡邊弘人

5. 家族共に二ードを踏まえた目標設定を行うことの大切さ～作業選択意思決定支援ソフト（ADOC）を使用し
て～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 石川正樹

1. 病院に於ける介護士の役割を検討～介護士の現状把握と育成への取り組み～

発表者：宮里病院 西病棟 介護福祉士 具志堅光

2. 自分らしさを取り戻す ～ちゅらふくプロジェクトの実施報告～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 介護福祉士 嘉陽田吉幸

3. 名護市スポーク通所リハビリテーションの特徴ーリハビリに特化した介護サービスと支援ー

発表者：スポーク通所リハビリテーション 介護福祉士 山城利沙

4. 利用者の在宅生活におけるヘルパーの役割～利用者の生活からみえてくるもの～

発表者：地域ケアセンター部門 あわせヘルパーステーション 介護福祉士 小田英法

5. ケア質評価表からみた情報共有について～統一したケアを目指して～

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 介護福祉士 渡口正貴

1. 余暇活動の充実と実現に向けて

発表者：地域ケアセンター部門 亀の里通所リハビリテーション 介護福祉士 仲宗根利知子

2. 外来リハビリテーションの展開

発表者：沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぷん 作業療法士 渡邊健一

3. ホール担当制を導入してから見えてきたもの ～さらなるメディカルホールとの連携に向けて～

発表者：地域ケアセンター部門 訪問リハビリテーション 理学療法士 盛小根康

4. スポーク・クリニック3年間の受診状況から考える今後の展望

ー地域のニーズとクリニックとしての役割ー

発表者：スポーク・クリニック 看護師 嘉陽淳子

5. 往復型入所から亀の里の役割を考える ～在宅での生活を支える～

発表者：介護老人保健施設 亀の里 ケア部 介護福祉士 屋良隆治

市民公開講演会

テーマ：新しい時代のまちづくりと医療・保健・福祉・文化の役割

「基調講演 1」タピックにおけるスポーツカルチャーセンター機能の紹介と今後の役割

ペアーレ沖縄・タピック 部長 米須清昌

「基調講演 2」名護市スポーツリハビリテーションセンター・スポークの歩み

名護市スポーク・クリニック院長 大嶺啓

「基調講演 3」TAPICの認知症への総合的取り組みの紹介と今後の予防を中心とした戦略

宮里病院院長 古謝淳

「基調講演 4」沖縄県中部におけるリハビリテーション医療の展開と今後の方向

沖縄リハビリテーションセンター病院院長 濱崎直人

「基調講演 5」観光と文化と医療の融合——ユインチホテルにおける観光イノベーションの夢

ユインチホテル南城 総支配人 島袋悦雄

「基調講演 6」タピックにおける21世紀エネルギー戦略と夢 ユインチ鉱山所長 大見謝恒慈路オランダにおける

自然エネルギー活用システム ユインチホテル管理部長 石原信義

「記念講演」私のまちづくりの夢——村の一職員からの軌跡と南城市GANJU CITY構想

南城市市長 古謝景春

「総括講演」超高齢社会・世界大交流時代におけるTAPICの使命 タピック代表 宮里好一

第16回 タピック・リハ・ケア合同研究大会

テーマ：「回復への明日を見つめよう、多職種と共に～今こそ絆の輪を結び強めよう～」

開催日：平成25年6月8日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：口腔ケア、口腔リハビリが目指す『食べられるための口づくり』～口から食べることの「喜び」を考える～

講師：村田歯科医院 院長 黒岩 恭子

演題1. 当院における車椅子と車椅子使用患者との適合状況報告

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ山城貴大(PT)

演題2. 若年高次脳機能障害者の支援～学業継続と作業療法の役割～

発表者：メディカルホールひんぷん外来リハビリ渡邊健一(OT)

演題3. 意識障害をとまなう患者に対するアプローチ～経口摂取獲得を目標にして～

発表者：7階メディカルホールていーだ渡邊真由美(ST)

演題4. 慢性脳卒中片麻痺患者に対する治療的電気刺激と川平法との併用における治療効果～上肢機能改善によるADL参加頻度向上を目指して～

発表者：メディカルホールひんぷん外来リハビリ新里裕士(OT)

演題5. HALを使用して立ち上がり・排泄動作に変化をもたらした一症例

発表者：4階メディカルホールゆいんち安里優介(OT)

演題6. 「笑顔になってもらうために」～意思伝達困難者に対するアプローチについて～

発表者：亀の里通所リハビリテーション松尾隆弘(CW)

演題7. 口腔ケアの実態と今後の課題～キャストアンケートを通して～

発表者：4階メディカルホールゆいんち上里早希(ST)

演題8. 日光浴を取り入れた睡眠への支援

発表者：亀の里ケア部金城恵(CW)

演題9. 入浴拒否の利用者への関わり～心地よく入浴していただくために～

発表者：百歳堂デイケアセンター饒平名千秋(CW)

演題10. 車椅子のまま撮影可能な補助具作成について～患者に優しい撮影を目指して～

発表者：メディカルホールひんぷん放射線科濱崎育恵 (RT)

演題11. 当ホールにおけるグループ回想法の実践報告

発表者：7階メディカルホールていーだ上地さおり (OT)

演題12. 看護記録(Ⅱ号用紙)の様式統一を試みての評価と課題

～分かりやすい看護記録を目指して～

発表者：5階メディカルホールはいさい新里祐希 (Ns)

演題13. 内服自己管理シートの活用状況と誤薬との関連性～回復期看護における内服自己管理訓練導入と評価のあり方について考える～

発表者：4階メディカルホールゆいんち稲葉圭吾 (Ns)

演題14. 活動量を含めた栄養管理の必要性～Mets表を使用して～

発表者：4階メディカルホールゆいんち山本三紗 (Ns)

演題15. 当院の病院機能の現状と経年変化～測ることのできない物は、良くならない～

発表者：医局 藤山二郎 (Dr)

演題16. 脳血管障害重症患者の転帰に関する当院の動向

発表者：4階メディカルホールゆいんち仲宗根秀徳 (SW)

演題17. 在宅における賃貸借の機能を発揮するための取り組み～ラ・ペジブル泡瀬の役割を見つめ直して～

発表者：ラ・ペジブル泡瀬山岸俊江 (CW)

演題18. 在宅における高次脳機能障害者の就労前支援～エンパワメントの視点と展開プロセス～

発表者：訪問リハビリテーション室安村勝也 (OT)

演題19. 住宅改修の勉強会を通してみえた連携の重要性～入院、退院、そしてこれからも続く生活をみんなで支えよう！～

発表者：沖縄ケアサポートセンター松元珠代 (CM)

演題20. 自発的な社会参加を目指した取り組み～新しいリハビリテーションのかたち～

発表者：6階メディカルホールちゅらうみ高江洲昌太 (PT)

第17回 タピック・リハ・ケア合同研究大会

テーマ：「これからの地域生活を支えるために～医療・介護・福祉 それぞれの役割と連携～」

開催日：平成26年7月12日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：「誰にでもできる頻尿・尿失禁対策」

北上中央病院 副院長 菅谷公男

演題1. 地域での暮らしを支えるケアマネージャーの役割 ～連携を強めたい！～

発表者：地域ケアセンター 沖縄ケアサポートセンター 比嘉尚子 (CM)

演題2. 認知機能が低下した患者における地域支援者との連携の重要性～回復期リハ病棟から地域へ途切れない支援を目指して～

発表者：7階メディカルホールていーだ 新里朋子 (OT)

演題3. だれもが安心して暮らせるまちに～認知症があっても自分らしく～

発表者：沖縄市高齢者支援センターあわせ 比嘉実希 (あんしん生活支援員)

演題4. 時間はかかったけどデイケアへ行けるようになった！～地域での生活をより長く継続するために～

発表者：訪問リハビリテーション室 當間かおり (PT)

演題5. サ高住への24時間体制ヘルパー導入への取り組み～連携を強化し、より良いサービスの提供に向けて～

発表者：ラ・ページブル抱瀬・あわせヘルパーステーション 吉元祐二 (CW)

演題6. 重症患者在宅復帰に向けての看護師の取り組み～有意義なホール生活から退院支援へ～

発表者：7階メディカルホールていーだ 河上理佐 (Ns)

演題7. 旅リハ!～久来島旅行の報告～

発表者：メディカルホールひんぷん 外来リハビリ 高庄洲昌太 (PT)

演題8. ココロに栄養を与えることを目指した食事ラウンド～回復期における多職種で関わるNST～

発表者：4階メディカルホールゆいんち 上門渚 (CW)

演題9. アロマセラピーによって上肢機能改善が見られADL動作が改善した症例

発表者：メディカルホールひんぷん 外来リハビリ 照星修平 (PT)

演題10. 意図の抗争によりコミュニケーションや日常生活動作に障害を呈した症例

発表者：7階メディカルホールていーだ 平良春奈 (ST)

演題11. 脳梁離断症状により失書を呈した一症例～桔抗失行により書字妨害が認められた症例について～

発表者：4階メディカルホールゆいんち 渡邁真由美 (ST)

演題12. 帰宅願望のある利用者への取り組み～I症例を通して見えてきた事～

発表者：デイサービスあわせ 池田綾乃 (CW)

演題13. 施設内でできる園芸活動～みんなで作って食べよう～

発表者：介護老人保健施設 亀の里 ケア部 喜久山本哉 (CW)

演題14. 高齢者の方が安心して楽しめる食事提供がしたい～四季の恵みを生かした行事食提供の試み～

発表者：ラ・ページブル泡瀬 仲本美奈子 (厨房)

演題15. アザラシ型ロボット「パロ」の効果について～「パロ」との触れ合いの中で利用者との職員の変化～

発表者：亀の里通所リハビリテーション 西平利美子 (CW)

演題16. 認知症利用者と介護スタッフに対するパロの導入について～パロ（ゴンちゃん）がもたらした気づきの瞬間～

発表者：介護老人保健施設 亀の里 吳那覇祐子 (CW)

演題17. 当院における腱板断裂術後4週目と6週目の比較～日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準を用いて～

発表者：5階メディカルホールはいさい 宮城文龍 (PT)

演題18. 口腔環境の安定を目指して～モアブラシを取り入れて～

発表者：介護老人保健施設 亀の里 ケア部 野国聡子 (CW)

演題19. 回復期リハ病棟を立ち上げて2年目の現状と課題～アンケート調査の結果より～

発表者：5階メディカルホールはいさい 大城武 (Ns)

演題20. 回復期病棟での生活行為マネジメント試用経験～クライアントに寄り添える作業療法を目指して～

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ 下地南 (OT)

演題21. 4階ゆいんちホールにおける破損報告の年間推移～環境整備係りの取り組み～

発表者：4階メディカルホールゆいんち 佐久本盛光 (PT)

演題22. 当院における福祉用具レンタルの実状

発表者：5階メディカルホールはいさい 秋月亮二 (OT)

タピック看護・ケアミニ研究発表会 2014

テーマ：「変化する医療・福祉・介護～今、私たちができる在宅への支援～」

開催日：平成 26 年 12 月 19 日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

演題1. 夜間失禁ハツ外しの原因に視点を当て自宅退院が可能になった症例～BPSD を呈する認知高齢者の場合～

発表者：4階メディカルホールゆいんち 東江若奈(Ns)

演題2. はいさいホールにおける屋外活動への取り組み

発表者：5階メディカルホールはいさい リード知子 (Ns)

演題3. 半固形化注入法により下痢症状が改善した事例報告～食前水を紅茶ゼリーへ変更して～

発表者：6 階メディカルホールちゅうらうみ 城間直樹(Ns)

演題4. 皮膚剥離の無いホールを目指して

発表者：7 階メディカルホールていーだ 藤澤欽崇 (Ns)

演題5. 在宅復帰強化型老健へ

発表者：介護老人保健施設 亀の里 幸地良潤 (Ns)

第 18 回 タピック・リハ・ケア合同研究大会

テーマ：「アジアに発信するリハビリテーションと医療を目指して

～生活の再建とライフスタイルの改善～」

開催日：平成 27 年 7 月 4 日

開催場所：沖縄リハビリテーションセンター病院

講演：「ライフスタイルと健康障害 ～最近の医学の進歩～」

琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科講座 教授 益崎裕章 先生

演題1. 退院後、IADL自立となった事例 ～元のアパートで暮らしたい～

発表者：外来メディカルホールひんぷん 宮城優子 (OT)

演題2. 脳トレによる認知面に対するデイサービスでの取り組み～生きる意欲と充実した毎日を過ごすために～

発表者：デイサービスあわせ 下地裕子(CW)

演題3. 嚥下訓練食に対する拒否感のため食思不振となり、経口摂取につなげることができなかった一例

発表者：4階メディカルホールゆいんち 桃原織穂 (ST)

演題4. トイレで排泄ができるようになりたい ～リハビリテーションカンファレンスを通しての取り組み～

発表者：亀の里 通所リハ 志慶真裕也(CW)

演題5. 作業療法高次脳機能専門班の取り組み～レジュメ調査・分析で見えてきたもの～

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ 山内秋乃 (OT)

演題6. 訪問リハビリ介入で次のサービスに移行できた事例 ～回復期から在宅生活へ役場相談員との連携を通して～

発表者：訪問リハビリ 友寄隆太(OT)

演題7. 小集団レクの取り組みについて ～やる気を出すレクリエーション～

発表者：介護老人保健施設 亀の里 島袋沙也加(CW)

演題8. 多職種で関わり夜間排泄が自立した若年脳卒中患者の症例 ～自宅復帰に向けた夜間失禁への取り組み～

発表者：4階メディカルホールゆいんち ディロング直美 (Ns)

演題9. 道具使用失行とPreshaping障害、伝導失語を呈した症例のリハ経過

発表者：7階メディカルホールていーだ 諸見里優寿(OT)

演題10. 選ぶ大事さ 選べる楽しさ ～選択的活動が利用者様に与えたもの～

発表者：百歳堂デイケアセンター 宮城安成(CW)

演題11. 当院回復期リハビリ病棟における職業性腰痛の実態調査

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ 宮里宗忠(PT)

演題12. 高次脳機能障害に対するチーム共同でのアプローチ ～ADL全介助からの挑戦～

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ 安次嶺千弥子(ST)

演題13. 当院における介護職の教育、ケアの課題への取り組み～回復期リハビリ病棟介護の確立を目指して～

発表者：4階メディカルホールゆいんち 比嘉亮太(CW)

演題14. 救急搬送された方の栄養状態

発表者：介護老人保健施設 亀の里 大嶺ちひろ(管理栄養士)

演題15. 栄養状態の改善度の差異が体組成・ADL能力に及ぼす影響～当院回復期病棟入院患者における疾患別の検討

発表者：4階メディカルホールゆいんち 平田久乃(PT)

演題16. 重度頸髄損傷患者に対するシーティングアプローチの一例

発表者：4階メディカルホールゆいんち 大城幸子(OT)

演題17. 自動車運転再開アンケート調査からみえた当院セラピストの実状

発表者：外来メディカルホールひんぷん 平山陽介(OT)

演題18. 介護の情報共有についての取り組み

発表者：5階メディカルホールはいさい 小濱紋乃(CW)

演題19. 回復期リハビリテーション病棟におけるソーシャルワーカーの家族支援

発表者：地域連携室 齋藤真琴(SW)

演題20. 回復期病棟における高次脳機能障害患者へのチームアプローチを振り返って ～テキストマイニングを用いた検討～

発表者：臨床心理士室 喜納海里(CP)

演題21. 視覚失認、失認性失読、大脳性色覚障害を呈した症例

発表者：6階メディカルホールちゅうらうみ 高野圭史(ST)

演題22. 回復期リハ病棟におけるMSWの役割～自己決定までの過程を支える支援～

発表者：ソーシャルワーカー室 大城将平(SW)

演題23. 高次脳機能障害のクライアントにセラピストはどう寄り添えるのか～外来リハビリテーションの取り組み～

発表者：外来メディカルホールひんぷん 阿嘉大志(OT)

演題24. 当院回復期病棟入院患者における疾患別特徴～体組成データを用いて～

発表者：7階メディカルホールていーだ 宮里由乃(PT)

演題25. 回復期病棟における職員満足度調査結果からの報告

発表者：4階メディカルホールゆいんち 森田智也(OT)

演題26. TKA患者へのOTの介入

発表者：5階メディカルホールはいさい 西平伸也(PT)

演題27. ていーだホールにおけるOTグループ制の導入について

発表者：訪問リハビリテーション室 児玉悦津子(OT)